

2009年3月2日

## HSBC プレミア、マス富裕層の投資意識調査を実施

～ マス富裕層はマス層と比較し、金融危機を投資のチャンスと捉える ～

ロンドンに本拠をおく世界有数の金融・銀行グループである HSBC は、このたび、HSBC プレミアの対象であるマス富裕層を対象として「現在の金融状況下における意識の変化、資産状況の変化、新興国投資への興味・関心」をテーマに調査を実施しました。

調査からは、次のような興味深いマス富裕層の意識が明らかになりました。

1. 現在の金融市場の状況は、資産を増やすチャンスであるとみる人の割合はマス層と比較してマス富裕層は 2.5 倍以上である。
2. 全体の 60%以上が、現在の金融危機の状況は 2 年以内に終わるだろうと考えている。
3. マス富裕層の 2/3 が金融危機により資産が減少したと回答しているが、30%以上資産が減少した人の割合は 20%以内と限定的だった。
4. 金融危機の教訓として、情報収集をより積極的に行う姿勢が示された。また、金融機関への格付けや評価、時価総額も気にするようになった。

この調査は、HSBC プレミアが、2008 年 12 月 16 日から 2 日間にわたって、一都三県（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）の 30 代から 60 代の男女 929 人を金融資産額により、マス富裕層（金融資産 1,000 万円以上の個人）とマス層（金融資産 1,000 万円未満の個人）に分け、現在の金融状況下における意識や資産状況の変化、新興国投資への興味・関心等について把握するために、調査を実施したものです。

次頁に続く

## HSBC プレミア、マス富裕層の意識調査を実施/2

今回の調査から読み取れるマス富裕層の意識について、主な点は以下の通りです。

**現在の金融市場の状況は、資産を増やすチャンスであると考えている。**

マス富裕層の 39%、マス層の 15%が、現在の金融市場の状況は、資産を増やすチャンスであり積極的に投資機会を探したいと回答しており、マス層に比べマス富裕層の積極的な投資意欲を示している。

また金融危機による資金流出が拡大している新興国への投資に対する関心は、マス富裕層の 55%、マス層の 37%が「関心がある」と回答し、中長期的な視点での、マス富裕層の新興国投資への期待感をあらわにした。新興国投資への関心を示した回答者の 50%以上（マス富裕層 56%、マス層 53%）はインド市場に最も関心を示し、その理由として、IT 部門の成長力がある（マス富裕層の 78%以上、マス層の 69%以上）インド国内の内需拡大が見込める（マス富裕層の 72%以上、マス層の 63%以上）点をあげた。

**金融危機の教訓として、情報収集をより積極的に行う姿勢が示された。また、金融機関自体の格付けや評価、時価総額も気にするようになった。**

マス富裕層の 60%、マス層の 34%が、金融危機以前と比べ、より積極的に金融市場についての情報収集を行いたいと回答し、金融市場の混乱から、情報収集をより積極的に行う姿勢が示された。また、世界の金融動向についての専門知識があり、客観的なアドバイスができる金融機関の担当者の話を聞きたい（マス富裕層 39%、マス層 19%）とのニーズも示された。

また、マス富裕層の 55%、マス層の 35%が金融機関への格付けや評価、時価総額、決算内容の情報を気にするようになったと回答。金融危機を受け、マス富裕層がこれまで以上に金融機関に安心感を求めている姿勢が示された。

**損失発生時にも顧客へのサポートを怠らない金融機関を、より高く評価する傾向にある。**

マス富裕層の 62%、マス層の 51%が、自分の資産が目減りしているようなときにも、きちんと連絡をくれる金融機関に対し、好感を持つようになったと回答している。金融危機を受け、「損失を抱えているときにも、コンタクトをし続けてくれる」金融機関の顧客フォローの体制が望まれていることが、今回の調査で明らかになった。

次頁に続く

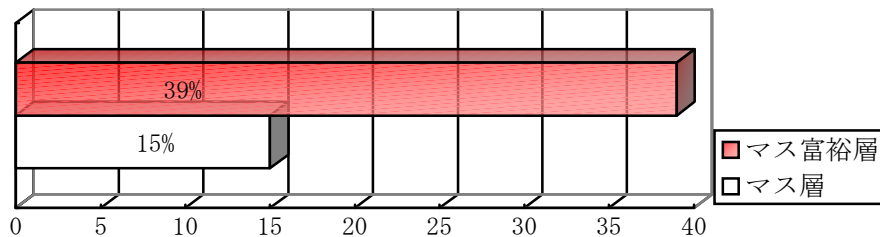
### HSBC プレミア、マス富裕層の意識調査を実施/3

マス富裕層の2/3が金融危機により資産が減少したと回答しているが、30%以上資産が減少した人の割合は20%以内と限定的だった。

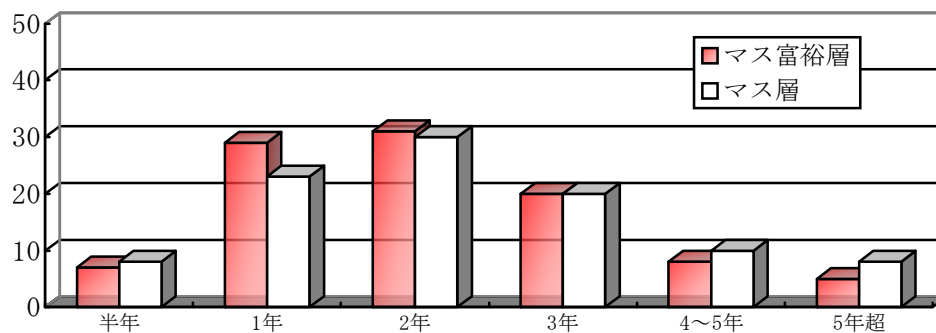
回答では、マス富裕層の67%が、今回の金融危機によって資産を減らしたとしているが、資産が30%以上目減りしたマス富裕層は20%にとどまっている。2008年9月のリーマン・ブラザーズの破綻から3ヶ月後の調査時点で日経平均株価は約30%下落している。<sup>注1)</sup>

今回の調査結果からは、現状の金融市場環境を投資の好機と捉え、積極的な情報収集を進めるマス富裕層の姿が示されました。とりわけ金融危機によるリスク回避、資金流出が拡大している新興国投資への関心が、マス層に比べマス富裕層は高く、現在の金融状況下においても中長期的な経済発展による資産を増やす魅力的な投資機会と認識されている事が示された結果となりました。

#### 1. 現在の金融市場の現状は、資産を増やすチャンスである



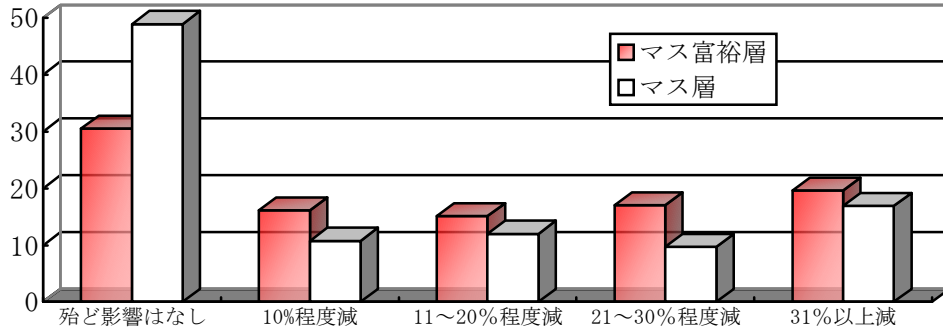
#### 2. 現在の金融危機の状況はあとどれくらい続くと考えているか



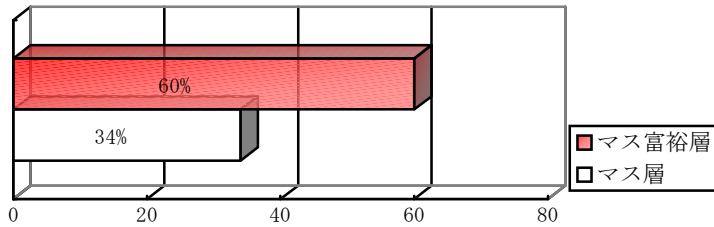
次頁に続く

## HSBC プレミア、マス富裕層の意識調査を実施/4

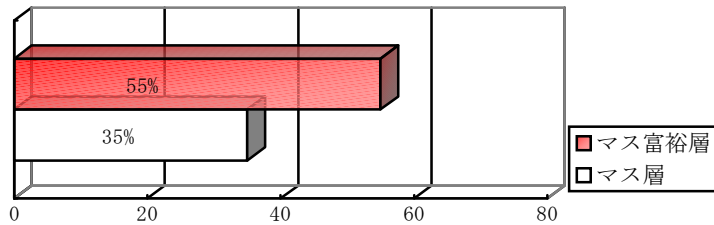
### 3. 金融危機により資産が30%以上減少した割合は20%以内と限定的



### 4-①. 以前に比べて積極的に金融市場に関して情報収集するようになった



### 4-②. 金融機関の格付けや評価、時価総額を気にするようになった



当行は、HSBC プレミアの対象であるマス富裕層のお客様の意識やニーズを絶えず把握するための多角的な調査を、今後も定期的にも実施してまいります。

次頁に続く

## HSBC プレミア、マス富裕層の意識調査を実施/5

### 注記:

1: リーマン・ブラザーズ破綻の前営業日 2008 年 9 月 12 日の終値から本調査開始日の 2008 年 12 月 15 日の終値にて計算

### HSBC グループ

HSBC グループの持株会社である HSBC ホールディングス plc は英国に本部を置いています。HSBC グループは世界で 1 億の顧客に対してサービスを提供しております。HSBC グループは、ヨーロッパ、アジア太平洋地域、アメリカ大陸、中東、アフリカにまたがる 85 の国と地域に 9,500 を超える拠点を擁し、2008 年 6 月末現在 2 兆 5,470 億米ドルの総資産を持つ世界有数の金融グループです。

### 日本における香港上海銀行

HSBC グループの母体行である香港上海銀行(本店・香港)は、日本で 140 年以上営業を続けており、事実上、日本で最も長い歴史を持つ銀行です。現在、東京と大阪に支店を展開しています。法人向けの金融業務、プライベートバンク業務や HSBC プレミアなどの個人向け金融業務を提供しています。

### HSBC プレミア

HSBC グループの個人向け金融業務で、成長が著しいマス富裕層にグローバルな個人向けウェルスマネジメント・サービスを提供しています。2000 年にサービスを開始し、2007 年 5 月には、サービス内容などを一新したインターナショナル・サービスを開始しました。すでに、世界の 42 の国と地域で 300 以上の HSBC プレミアセンター（店舗）が設置されており、260 万人以上の顧客にサービスを提供しています。世界中どこにいても自国にいるような感覚で利用できる銀行サービスであり、日本では、お預り資産残高が 1,000 万円以上のマス富裕層のお客様のための専門銀行サービスとして、クオリティの高い個人向けウェルスマネジメント・サービスを提供します。日本では、2008 年 1 月にサービスを開始しました。これまでに関東圏の赤坂、銀座、広尾、丸の内、横浜、池袋、神戸に HSBC プレミアセンターが開設されており、日本全国の HSBC プレミアセンターの支店網は 7 店舗です。

以上